



司馬台長城から見下ろす古北水鎮の景観は、現実世界とは思えない美しさです



山の稜線に連なる司馬台長城と家並み、水辺が一体となってライトアップされた古北水鎮の夜景

活かしたい古鎮リゾートの新たな魅力 洗練された素材が開く中国観光の可能性

中国では、21世紀に入ってから浙江省北部の景勝地・烏鎮が水郷古鎮リゾートとして新たに開発されたのに続き、北京市密雲区の北東部に古北水鎮が中国伝統風情のリゾートとしてオープンするなど、山の稜線に連なる司馬台長城と家並み、水辺が一体となってライトアップされた古北水鎮の



秋の風情が漂う古北水鎮の街路



往時の姿が再現された草木染工房(古北水鎮)



ホテルの眼下に広がる古北水鎮の景観

夜景、千年古鎮々とも呼ばれる烏鎮は、長い歴史を持つ水郷古鎮としての町並みや伝統文化の魅力を前面に打ち出し、古運河を行く遊覧船で石橋をくぐりながら、生活感あふれる素朴な風景を楽しむ古

北水鎮の景観は、現実世界とは思えない美しさです。2015年に世界インターネット大会が開催された烏鎮

歴史保全と観光開発を調和

烏鎮や古北水鎮での新たなリゾート開発は、中国国内における中間層の拡大や旅行市場の成熟などが後押ししていますが、同時に、中国の古い集落を歴史的に保全しながら観光開発と調和させて発展を図る手法としても、注目されるものです。

一方、今年グランドオープンを迎えた古北水鎮は、万里の長城のふもとに中世の町並みが復元されており、高度に洗練されたリゾート地として中国観光の新しい可能性を示す存在となっています。明・清時代の都市がまるごと再現された運河沿いには煉瓦の建物が連なり、デザインホテルや瀟洒なレストランなどに加えて足湯まで完備され、異次元の世界に足を踏み入れたかのような空間が広がっています。



ライトアップされた美しい烏鎮の夜景



古運河を行く遊覧船で楽しむ素朴な風景(烏鎮)

では、同大会に合わせて会議センターや展示会場、レセプションセンター、リゾートホテルなどが建設され、歴史的な町並みや運河などと連携した都市開発も高く評価されています。

「烏鎮モデル」とも言われる古北水鎮は、そうした烏鎮での展開も視野に入れて開発が進められてきており、各地から移築された明清時代の施設も、全て現地の自然や歴史的景観を損なわないように建設されています。

古北水鎮の東には、数ある万里の長城スポットの中で最も明代の姿を今に伝えると言われる「司馬台長城」へのロープウェイも完成しており、長城の夜景も楽しむことができます。

中国国家観光局駐日本代表処は、7月20日に東京で中国の専門オペレーター4社合同の「中国旅行新商品紹介セミナー」を開催したのに続き、21日から24日までの日程で北京研修旅行も実施して、古北水鎮の魅力アピールしており、日本市場における今後の展開が期待されています。